

研 修 科 目	D X 推 進 に 向 け た 業 務 改 革 研 修
研 修 の 目 的	職員のD Xに関する知識の底上げを図り、具体的な業務改革の推進に直結する知識・スキルを持ったD X人材の育成を目指す。
科 目 の 到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ D Xに関する情勢を理解し、基礎知識を習得させる。</li> <li>・ D Xに必要なスキルを習得・向上させる。</li> <li>・ 受講者自身の業務におけるD Xを検討・計画し、実際に試行する。</li> </ul>
受 講 対 象 者	係長級以下の職員
受 講 予 定 人 数	6 0 名 程 度 （ 3 0 名 程 度 × 2 ）
研 修 日 数 ・ 時 間 ・ 回 数	計 3 回 程 度 の 連 続 研 修 を 2 ク ー ル 実 施 ( 1 回 当 た り の 講 義 時 間 等 に つ い て は 提 案 内 容 に 含 め る こ と )
実 施 予 定 時 期	令和 6 年 9 月 ～ 令和 7 年 2 月 中 旬 ( 概 ね 3 か 月 間 で 3 回 程 度 の 研 修 を 実 施 す る も の と す る 。 )
研 修 方 法	<p>対面での講義や演習を中心とする。</p> <p>※ 対面及びオンラインでの実施を組み合わせることも可能であるため、必要に応じて提案内容に含めること。</p>
研 修 内 容	<p>1 D Xに関する情勢の理解と基礎知識の習得</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自治体を取り巻くD Xの状況を理解する。</li> <li>○D Xに関する基礎知識、D X人材に求められる役割を理解する。</li> <li>○D X人材に求められる必要な視点・考え方を理解する。</li> </ul> <p>※最新のトレンドや事例を反映した内容とすること</p> <p>2 デジタル技術を活用した業務改革に必要なスキルの習得</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○業務改革に必要なデジタルリテラシー（近年トレンドとなっているD Xツールに関する知識を含む。）、マネジメントスキルを習得する。</li> <li>○D Xに必要な「デザイン思考」、「ビジネスアーキテクト」の考え方を学び、模擬演習等を通じて、業務を可視化・分析する手法を習得する。</li> </ul> <p>※講義内で紹介するD Xツールは、本市と事前に調整を行うこと</p> <p>3 デジタル技術を活用した業務改革の検討・計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○受講者自身の業務の可視化・分析を実施</li> <li>○受講者自身の業務において実効性あるD Xツールの導入を検討・計画</li> </ul> <p>※上記で検討・計画したことを研修期間中に試行する。</p> <p>4 実践結果を踏まえた振り返りと再検討</p> <p>各受講者が試行した結果について振り返り、グループワーク等においてフィードバックする中で分析し、次の展開を検討する。</p> <p>※ 1 研修期間中、適宜、各受講者のサポートを行うこと</p> <p>※ 2 事前課題、事後課題の適切な設定により、効果的に 3 回の研修を実施すること</p> <p>※ 3 ディスカッションやグループワーク等の演習を用いて、受講者の経験等を共有化し、気付きを促すなどの工夫をすること</p>
上 限 金 額 （ 税 込 ）	2 , 5 0 0 , 0 0 0 円